

山 岳 遭 難 発 生 状 況

(令和7年1月1日～令和7年6月15日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和6年数値は1月1日からの同期間数値）

区 分	発生件数	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令 和 7 年	112	25	4	52	52	133
令 和 6 年	105	20	0	43	56	119
前 年 同 期 比	7	5	4	9	-4	14

2 山域別発生状況

区 分		件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
北 ア	槍穂高	16	14.3%	5	0	7	6	18
	後立山	20	17.9%	4	1	9	17	31
	その他	20	17.9%	0	0	15	8	23
計		56	50.0%	9	1	31	31	72
中央アルプス		9	8.0%	3	1	3	3	10
南アルプス		2	1.8%	0	1	1	0	2
八ヶ岳連峰		14	12.5%	3	0	8	4	15
その他の山岳		31	27.7%	10	1	9	14	34
計		112		25	4	52	52	133

3 態様別発生状況

区 分	件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
転・滑落	40	35.7%	14	0	28	0	42
転 倒	20	17.9%	1	0	19	0	20
病 気	5	4.5%	2	0	0	3	5
道 迷 い	20	17.9%	0	0	0	32	32
落 石	1	0.9%	0	0	1	0	1
雪 崩	2	1.8%	1	0	1	1	3
落 雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	4	3.6%	0	0	0	5	5
不明・他	20	17.9%	7	4	3	11	25
計	112		25	4	52	52	133

4 男女別・年齢別比率

区 分	男 性					(人) 比率	女 性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	3	3	25 24.8%	0	0	0	0	0	9 28.1%	3	34 25.6%
20代	0	0	1	9	10		0	0	1	4	5		15	
30代	3	1	3	5	12		0	0	2	2	4		16	
40代	4	1	8	3	16	41 40.6%	1	0	2	1	4	15 46.9%	20	56 42.1%
50代	6	0	9	10	25		0	0	8	3	11		36	
60代	5	1	8	6	20	35 34.7%	0	0	5	0	5	8 25.0%	25	43 32.3%
70以上	6	1	3	5	15		0	0	2	1	3		18	
計	24	4	32	41	101		1	0	20	11	32		133	
比 率	75.9%						24.1%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（6/9～6/15）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
6月12日	ハケ岳連峰 八柱山	女	74	無事救出	疲労	6人パーティで八柱山に入山し、疲労により、行動不能
6月12日	上高井郡高山村地籍 笠ヶ岳	女	76	負傷	滑落	2人パーティで山菜採り中、滑落、負傷
6月12日	独鈷山	男	71	無事救出	道迷い	単独で独鈷山から下山中、道に迷い、行動不能

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、3件の山岳遭難が発生し、うち1件は山菜採り遭難でした。
長野県内は、例年この時期に、山菜採り中の道迷いや滑落・転倒による遭難が後を絶ちません。
先週発生した山菜採り遭難は、親族と2人で入山し、夢中になりすぎて、別行動となり、道に迷ったため沢筋を下っていったところ、滑落して行動不能となってしまいました。
山菜採りは整備されていない山に入るため、一般的な登山よりも多くのリスクが伴います。山菜採り遭難のほとんどが、「何度も入って慣れた場所だから」「すぐに戻ってくるから」といった安易な気持ちで入山した結果、遭難しています。
入山前、入山中には、

- ・ 入山場所と予定を家族や知人に伝える
- ・ 複数人で入山し、声や目の届く範囲で行動する
- ・ 急斜面には入らない、深入りしない
- ・ 熊対策を行う（鈴やラジオ）

また、必要最低限の装備として、携帯電話、雨具、ヘッドライト、飲み物、非常食は必ず携行し入山しましょう。